



ムンプス（おたふくかぜ）



唾液を作る耳下腺炎（耳の下）、顎下腺（あごの下）がはれて痛む病気です。3～7歳のお子様に多い病気です。

➤ 症状

突然の発熱、両側あるいは、片側の耳下腺のはれと痛みで始まります。片側の場合には、はれた後2日以内に反対側の耳下腺炎がはれます。また顎下腺がはれることもあります。はれは3～5日で引くことが多く、7～10日でなおることが多いです。合併症に無菌性髄膜炎、睇炎、精巣炎、卵巣炎、難聴があります。

➤ 感染経路

ムンプスウイルスが原因です。咳やくしゃみを吸い込むことによる飛沫（ひまつ）感染です。

➤ 潜伏期間

2～3週間です。

➤ 治療

対症療法が中心です。発熱や痛みにたいしてはアセトアミノフェン（アンヒバ、カロナール）などの解熱鎮痛薬を使用します。

➤ 家庭で注意すること

頭痛、嘔吐がある場合には髄膜炎を合併している場合があります。腹痛が強い場合には睇炎を合併している可能性があります。また男の子で精巣がはれている場合には精巣炎を合併している可能性があります。このような症状があれば病院を受診してください。

➤ 出席停止期間

耳下腺の腫脹が消失したら、登園、登校は可能です。